



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL http://www.sr-net.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)布目 秀樹
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員企画広報室 (氏名)小池 貴司 (TEL) (052)-413-6820
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,537	6.8	491	38.8	508	41.4	344	64.5
27年3月期第3四半期	7,053	11.5	354	64.5	359	64.4	209	53.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 341百万円 (62.2%) 27年3月期第3四半期 210百万円 (57.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	164.64	—
27年3月期第3四半期	100.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,890	3,491	50.6
27年3月期	6,660	3,254	48.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,489百万円 27年3月期 3,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,044	10.2	887	36.4	881	33.4	529	29.4	253.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	2,090,000株	27年3月期	2,090,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	376株	27年3月期	340株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	2,089,635株	27年3月期3Q	2,089,673株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	
(1) 生産実績	9
(2) 外注実績	9
(3) 仕入実績	9
(4) 受注実績	10
(5) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、後半に入り、中国の景気減速懸念や欧米諸国の財政問題などで先行き不透明な状況となっておりまいりましたが、政府による国内経済対策の効果や円安などの影響により、輸出関連企業を中心に企業収益の改善が見られ堅調に推移しました。

日銀が発表した平成27年12月の短観（企業短期経済観測調査）によると業況判断指数（DI）は、大企業製造業で9月の前回調査と同じプラス12ポイントとなりましたが、3か月後の先行き指数は5ポイント下落のプラス7ポイントと、下降傾向にあります。また、自動車は、新興国経済の減速の影響で、景況感がやや悪化し、プラス11ポイント（9月の前回調査から3ポイント下落）となり、3か月後の先行き指数は8ポイント下落のプラス3ポイントとなっており、先行きは不透明な状況になってきました。

一方、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計」によると、平成27年11月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比2.0%増となり、25か月連続の増加が9月に一旦減（同1.0%減）となったものの、その後、2か月連続の増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は、同2.4%増加、「ソフトウェアプロダクツ」は同1.9%増加、「システム等管理運営受託」は同3.2%増加となりました。

このような経営環境のなか、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、自動車関連製造業や機械製造業、流通業などからのIT投資需要が堅調で、既存取引先向けソフト開発などが伸びたことで、企業のシステム構築を中心とするSIサービス業務の売上高は4,069,163千円（前年同期比5.2%増）となりました。ソフトウェア開発業務においては、既存顧客からの継続受注を安定的に確保でき堅調に推移したことから売上高は3,101,400千円（前年同期比15.6%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、パッケージソフトウェアの売上が伸び悩んだことにより、売上高は258,811千円（前年同期比33.0%減）、商品販売では、パソコンやネットワーク機器などの販売で、102,336千円（前年同期比10.6%減）、その他のWEBサイトの運営などでは5,667千円（前年同期比3.2%減）となりました。

利益面におきましては、顧客のIT投資が堅調に推移していることなどから、高いSE稼働率を維持していることに加え、経費削減策や、プロジェクト原価管理の徹底などの取り組みを継続した結果、営業利益、経常利益ともに好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,537,377千円（前年同期比6.8%増）、営業利益491,966千円（前年同期比38.8%増）、経常利益508,211千円（前年同期比41.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益344,054千円（前年同期比64.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金および仕掛品が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ230,237千円増加し、6,890,588千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、短期借入金が増加したものの、賞与引当金、未払法人税等および長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7,083千円減少し、3,398,671千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当を行った一方で利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ237,321千円増加し、3,491,916千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,120,394	2,437,397
受取手形及び売掛金	2,302,672	2,089,743
商品及び製品	921	3,557
仕掛品	65,094	207,786
貯蔵品	7,482	7,483
その他	270,677	255,909
貸倒引当金	△232	△208
流動資産合計	4,767,011	5,001,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	558,721	532,376
土地	604,806	604,806
その他(純額)	20,432	15,923
有形固定資産合計	1,183,961	1,153,106
無形固定資産		
ソフトウェア	204,388	167,569
その他	8,436	8,296
無形固定資産合計	212,825	175,865
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	295,676	342,224
その他	200,875	217,722
投資その他の資産合計	496,552	559,946
固定資産合計	1,893,338	1,888,918
資産合計	6,660,350	6,890,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	309,951	331,107
短期借入金	—	345,000
1年内返済予定の長期借入金	887,686	835,897
未払法人税等	142,905	62,223
賞与引当金	484,734	308,412
受注損失引当金	8,487	—
その他	728,113	775,547
流動負債合計	2,561,879	2,658,186
固定負債		
長期借入金	747,789	645,124
その他	96,086	95,360
固定負債合計	843,875	740,484
負債合計	3,405,755	3,398,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	2,118,788	2,358,360
自己株式	△410	△500
株主資本合計	3,186,078	3,425,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,391	6,248
退職給付に係る調整累計額	59,854	57,259
その他の包括利益累計額合計	65,246	63,507
非支配株主持分	3,270	2,850
純資産合計	3,254,595	3,491,916
負債純資産合計	6,660,350	6,890,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,053,435	7,537,377
売上原価	5,674,161	5,977,184
売上総利益	1,379,273	1,560,193
販売費及び一般管理費	1,024,899	1,068,226
営業利益	354,373	491,966
営業外収益		
受取利息	26	33
受取配当金	278	284
受取保険金	2,000	2,000
助成金収入	8,079	19,292
その他	4,933	3,540
営業外収益合計	15,318	25,149
営業外費用		
支払利息	10,262	8,846
その他	45	57
営業外費用合計	10,307	8,904
経常利益	359,384	508,211
特別損失		
固定資産除却損	172	27
事務所移転費用	9,767	—
特別損失合計	9,939	27
税金等調整前四半期純利益	349,444	508,184
法人税等	140,799	164,550
四半期純利益	208,645	343,634
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△483	△420
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,128	344,054

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	208,645	343,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,228	856
退職給付に係る調整額	879	△2,595
その他の包括利益合計	2,108	△1,739
四半期包括利益	210,753	341,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,236	342,315
非支配株主に係る四半期包括利益	△483	△420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	4,273,597	97.6
ソフトウェア開発業務	3,101,400	115.6
ソフトウェアプロダクト業務	258,811	68.0
その他	5,894	98.3
合計	7,639,703	102.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 外注実績

当第3四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	外注高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,512,059	84.9
ソフトウェア開発業務	949,496	123.3
ソフトウェアプロダクト業務	16,973	74.6
その他	5,079	221.0
合計	2,483,608	96.4

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
商品販売	76,839	79.2

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
SIサービス業務	4,364,547	89.8	1,417,479	91.3
ソフトウェア開発業務	3,196,346	111.1	698,285	150.7
ソフトウェアプロダクト業務	253,596	60.5	56,026	109.8
商品販売	119,579	97.0	23,992	211.4
合計	7,934,069	95.8	2,195,782	105.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
SIサービス業務	4,069,163	105.2
ソフトウェア開発業務	3,101,400	115.6
ソフトウェアプロダクト業務	258,811	67.0
商品販売	102,336	89.4
その他	5,667	96.8
合計	7,537,377	106.8

(注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱トヨタコミュニケーションシステム	909,872	12.8	960,079	12.7

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。